

この町の“これから”を考える。

# いちかわ

## 議会だより



咲かせよう、満開の未来 ～市川中学校 入学式～



市川町イメージキャラクター  
ひまりん

住民撮影

**1月臨時会**  
**3月定例会**

予算特集 ～議員が注目する事業は～	2	いちかわ委員会ニュース	12
定例会審査結果	8	いちかわのココが聞きたい!	14
条例制定・改正、補正予算	10	聴かせてください! あなたの声	24

続く厳しい財政状況  
議員が注目する事業は

各公共施設の老朽化対策、消防署やごみ処理施設の建設など大規模な投資的  
事業の増により、当初予算総額は令和3年  
度から4年連続の増となった。その中で予  
算特別委員会が注目した事業は…



赤松議員が  
注目する事業は…

命のカプセル配布事業  
配布時に使用法などの  
丁寧な説明を

議員の  
注目の  
注目の



多田議員が  
注目する事業は…

産業団地導入基本計画策定事業  
移住につながるような  
企業誘致の推進を

議員の  
注目の  
注目の



高橋議員が  
注目する事業は…

宅地開発支援補助事業  
移住定住施策に  
民間の力の活用を

議員の  
注目の  
注目の



中岡議員が  
注目する事業は…

中学校給食費無償化  
町長公約の一部、  
中学校給食費無償化を  
先行実施

議員の  
注目の  
注目の



牛尾議員が  
注目する事業は…

ひきこもり支援推進事業  
ひきこもりにある方の  
「居場所」の開設を

議員の  
注目の  
注目の



後藤議員が  
注目する事業は…

給食材料費物価高騰対応事業  
物価高騰分、  
子育て世帯の負担軽減を

議員の  
注目の  
注目の

各事業の詳細は次のページへ

# 予算総額4年連続増 大規模事業の負担重く

令和7年度 予算総額

## 146億16万円

うち一般会計予算総額

## 79億4,930万円

予算の詳細は  
『広報いちかわ』を  
ご覧ください



撮影場所: 谷区



# 予算特集

\*\*\*\*\*

## 地域

高橋議員が注目する事業は…

### 宅地開発支援 補助事業

予算額 700万円



#### 事業内容 宅地造成に1区画70万円を補助

民間企業が4区画以上の宅地造成を行う場合に1区画当たり70万円を補助(ほかにも条件あり)。民間の力を活用して宅地造成や分譲を促進し、定住人口の増加をはかる。集合住宅を建設する場合にも補助を行う。



一言インタビュー 【甘地地区 平田さん】

人を呼ぶ取り組みはいいけど、実際に住むかどうかカギ。もっと知ってもらえる工夫を！

## 生活

中岡議員が注目する事業は…

### 中学校給食費無償化

予算額 1,242万1千円



#### 事業内容 令和7年4月から中学校給食費無償化

保護者の負担軽減を図るため、令和13年3月31日までの間、保護者および当該生徒が市川町に住所を有する者に限り、中学校の給食費(月額:4,800円、日額273円)を0円にする。小学校はこれまで通り、1人あたり月額300円の補助を継続する。



一言インタビュー 【甘地地区 山本さん】

家計の負担が減るのでいい事だと思います。給食の質が落ちてしまわないようにお願いしたいです。



# 予算特集

\*\*\*\*\*

## 福祉

赤松議員が注目する事業は…

### 命のカプセル配布事業

予算額 110万5千円



#### 事業内容 緊急時、カプセルで個人情報を伝達

緊急時に救急隊員等が迅速に対応できるよう、かかりつけ医や服薬情報、緊急連絡先などの個人情報を事前に入れておく「命のカプセル」を広報と一緒に町内全戸に配布する。使用法等について配布時に丁寧に説明するよう求めた。

関連する内容はコチラ ▶P20 木村議員/一般質問「命のカプセル、要援護者への対応を」



一言インタビュー 【瀬加地区 高橋さん】

とてもいい事だと思います。お薬手帳などの普及活用もあわせて実施したり、認知症の方などでも上手く活用できる様に考慮していくと更に良いと思います。

## 地域

多田議員が注目する事業は…

### 産業団地導入 基本計画策定事業

予算額 550万円



#### 事業内容 産業団地開発を早急に進める

産業団地の開発に関して、共同で事業を進める民間パートナーの選定を行い、手続きを進めるための基本計画を策定する支援を委託する。基本計画は令和7年度中に完成見込み。開発にあたり、企業に適した条件を整えられるかが課題となる。



一言インタビュー 【企画政策課 木村課長】

民間の力を借り開発を進めたいです。企業誘致を進め、働く場所を確保し、移住・定住を促進します。そのためにはこの計画を策定する必要があります。



## 福祉

牛尾議員が注目する事業は…

### 「ひきこもり支援」 推進事業

予算額 113万7千円



#### 事業内容 社会参加を促す「居場所」を開設

管理者や相談支援専門員を配置し、利用者が安心して過ごせる環境を整え、気軽に相談できる場所を提供する。また、自分も障がいや病気の経験があり、その経験を活かして同じ境遇にある仲間を支えるピアサポーターも配置する。



一言インタビュー 【瀬加地区 小田さん】

人とのコミュニケーションの機会を作ることが大切。テレビでふれあい食堂を活用して支援していた。人との繋がりの楽しさを感じてもらいたい。

## 生活

後藤議員が注目する事業は…

### 給食材料費 物価高騰対応事業

予算額 648万円



#### 事業内容 給食材料費高騰分を町で負担

近年の物価高騰により給食材料費は前年より増加している。この増加分を町で負担するため、学校給食特別会計に対して一般会計から648万円の助成を行う。これにより保護者が負担する給食費の値上げは行われない予定。



一言インタビュー 【甘地地区 後藤さん】

ありがたいです。何でも物価が上がっていて家計が大変です。そのような中で給食費が上がらないのは助かります。

## 議員の眼

6人の議員が予算をチェック

### 議員が注目した予算のポイントは… 検証と連携で適正な事業実施を

3月17日から19日の3日にわたり、6名の議員が令和7年度一般会計ほか7会計、総額146億16万円について審査を行った。審査の際、委員から指摘されたポイントは次の通り。

#### 1 財政立て直しの 状況は…

経常経費の削減を中心に、投資事業の精査や整理・統合を含めた施設運営が行われているかをチェックした。自主財源については、ふるさと納税制度を主軸としつつ、企業誘致や宅地造成などの発展的な財源確保策の実施を求めた。

#### 2 社会資本整備の 状況は…

投資的的事业については、緊急性や投資効果等、代替案を含め十分に精査されているかを審査した。人口減少等を考慮したバックキャスト型<sup>(※1)</sup>の資本整備を期待したい。

#### 3 地域福祉の 充実を…

地域福祉については、少子高齢化に対応した施策が実施されているか、必要に応じた福祉施策の実施が確保されているかを主眼に審査した。各課の協力による横断的かつ相乗的な施策の展開を要望する。

#### 4 住民要望の 反映は…

町の行う事業が、住民要望に応えた内容となっているかを確認した。人的リソースや財源等の問題から応えられないものについては定量的かつ客観的なデータに基づいて説明責任を果たすように求めた。

#### 5 決算時に議会から 指摘された点は…

一般質問や所管事務調査などで出た指摘事項が予算編成に反映されているかをチェックした。特に、決算特別委員会の指摘事項である事業検証と改善への取り組みについて厳しく審査した。

(※1) バックキャスト型…まず将来像を描き、そこから逆算して計画を立てる手法

補正予算

一般会計

総額1億9、275万7千円の減

歳入

町税

2、060万円の増

・決算見込みによる固定資産税等の増。

地方消費税交付金

2、000万円の増

・決算見込みによる増。

地方交付税

9、290万8千円の増

・再算定されたことによる増。

分担金及び負担金

1、454万2千円の増

・利用人数の増による児童福祉費負担金等の増。

使用料及び手数料

91万5千円の減

・最終処分場投棄手数料の減による衛生手数料等の減。

国庫支出金

4、332万8千円の増

・決算見込みによる児童手当



負担金等の減と物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増。

県支出金

4、891万3千円の減

・決算見込みによる農林水産業費県補助金等の減。

財産収入

7千円の増

・決算見込みによる利子および配当金の増。

寄附金

2、240万円の増

・決算見込みによる指定寄附金の増。

繰入金

1億5、685万4千円の減

・ふるさと市川応援基金繰入金と財政調整基金繰入金等の減。

諸収入

666万円の減

・決算見込みによる雑入の減。

町債

1億9、320万円の減

・過疎対策事業債の減による衛生債等の減。

歳出

総務費

9、305万8千円の増

・決算見込みによるふるさと納税推進事業費等の増と住民税非課税世帯等重点支援交付金等の増。

民生費

5、910万4千円の減

・社会福祉総務費等の減。

衛生費

1億5、181万9千円の減

・中播北部行政事務組合負担金の減による保健衛生総務費等の減。

農林水産業費

3、336万2千円の減

・決算見込みによる農業総務費等の減と人事異動に伴う人件費等の減。

商工費

財源内訳の変更。

土木費

200万円の減

・決算見込みによる土木総務費の減。

消防費

1、802万7千円の減

・決算見込みによる常備消防

教育費

1、761万5千円の減

・事業費の確定に伴う中学校費等の減。

公債費

388万8千円の減

・決算見込みによる元金および利子の減。

繰越明許費

・緊急自然災害防止対策事業（浅野川河川改修工事3工区・4工区）等。

水道事業会計

収益的収入及び支出

150万円の減

・決算見込みによる給水収益の減。

支出

63万8千円の減

・決算見込みによる原水および浄水費の減と人事異動に伴う給料等の増。

職員給与費

116万2千円の増

・人事異動に伴う給料等の増。



1月臨時会・3月定例会 審査結果

1月臨時会は1月27日に召集され、住民税非課税世帯に対する給付事業などに関する一般会計補正予算など2件の重要案件を審議しました。

3月定例会は、3月4日に召集され3月27日までの24日間の日程で開かれました。

9人の議員が一般質問を行い、令和7年度予算、市川町消防団条例の制定など38件の重要案件を審議しました。（敬称略）

議案名	後藤海	本間信夫	藤本社啓	西岡真紀	赤松秀樹	多田博重	木村いつみ	中岡輝昭	高橋昭二	牛尾祐美子	山本芳樹	長尾克洋	結果
7年度予算													
市川町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成11人可決
市川町学校給食特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成11人可決
市川町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成11人可決
市川町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成11人可決
市川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成11人可決
市川町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成11人可決
市川町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成11人可決
市川町土地開発事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成11人可決
条例													
市川町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び市川町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成9人可決

○印は賛成、×印は反対、「欠」は欠席、「退」は退室したことを示しています。  
※議長は採決に加わらないため「-」で表示しています。ただし、賛成と反対が同数の場合は議長が決めます。



議案名	結果
市川町行政組織条例の一部を改正する条例について 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について 市川町職員の育児休業等に関する条例及び市川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について 市川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 市川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について 市川町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について ふるさと市川応援寄附条例の一部を改正する条例について 市川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 市川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	賛成11人可決
市川町農業振興地域整備計画審議会条例の一部を改正する条例について リフレッシュパーク市川の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 市川町水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例について 市川町消防団条例の制定について 市川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について 市川町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部を改正する条例について 市川町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について	賛成11人可決
市川町一般会計補正予算(第7号)※1月臨時会 市川町一般会計補正予算(第8号) 市川町学校給食特別会計補正予算(第3号) 市川町国民健康保険特別会計補正予算(第5号) 市川町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	賛成11人可決
市川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) 市川町水道事業会計補正予算(第4号)※1月臨時会 市川町水道事業会計補正予算(第5号) 市川町土地開発事業会計補正予算(第1号)	賛成11人可決
市川町立市川中学校改修工事(第3期)(ゼロ債務)の請負契約の締結について 緊急自然災害防止対策事業 浅野川河川改修工事3工区の変更契約の締結について 緊急自然災害防止対策事業 浅野川河川改修工事4工区の変更契約の締結について	賛成11人可決
市川町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて(岡本敏樹) 県営農地整備事業(経営体育成型)あまじ区地区大字、字の区域の変更について 中播北部行政事務組合規約の一部変更について	賛成11人可決

(敬称略)

人事

## 新教育長に岡本敏樹氏が就任

— 平成28年8月以来の教育長交代 —



市川町教育委員会 教育長  
岡本敏樹氏

市川町教育委員会の教育長として8年7か月の間務められた山下茂樹氏が令和7年3月31日に辞任することに伴い、新たに岡本敏樹氏が教育長に任命された。

任命にあたり、「町長はどのような点を評価され、教育長に任命するつもりなのか。」との質疑に対し、町長は「人権問題やスポーツに造詣が深く、社会教育指導員やスポーツ推進委員として活躍されている点を評価した。」と答弁した。

今後の抱負について、岡本教育長は「『明るく、そして誠実に』をモットーに前向きに頑張る。人権関連の条例制定と小学校統合関係に取り組んでいきたい。」と語った。

条例改正

## リフレッシュパーク市川宿泊料値上げ

— 一部料金は負担軽減のため引き下げ —

リフレッシュパーク市川では、物価高騰による影響を受け、厳しい経営状況が続いている。そのため、実費負担相当分を利用者に負担していただき、サービスの向上を図るため、この度使用料を

	値上げする部分	引き下げる部分
どんぐりころころ館	宿泊料 500円 値上げ	1部屋当たりの追加料金 2人宿泊/1,200円▶700円 1人宿泊/7,200円▶6,700円 500円引き下げ
コテージ	宿泊料 1,500円 値上げ	環境整備費(小学生以上) 200円▶0円(不要) 200円引き下げ

改正する。

これに伴い、どんぐりころころ館の宿泊料を500円、コテージの宿泊料を1,500円それぞれ値上げする。同時に、利用者の負担軽減を考慮し、どんぐりころころ館の1部屋当たりの追加料金を500円引き下げ、コテージ利用者の環境整備費を不要とする。

### 定例会・委員会 日程のご案内

定例会	日時	予定している主な内容
	6月 3日(火)9:30から	議案の提案理由等の説明
	6月10日(火)9:30から	一般質問
	6月19日(木)9:30から	議案に対する質疑・討論・表決

委員会	委員会名	日時	会場	内容
	総務建設常任委員会	6月12日(木)9:30から	役場4階 会議室	付託審査・ 所管事務調査
	民生教育常任委員会	6月13日(金)9:30から		

### 定例会・委員会 傍聴のご案内

**定例会の傍聴をしてみませんか?** 町議会では、予算・条例をはじめ行政に対する一般質問など、住み良い市川町をめざして審議しています。審議の様子を住民のみなさまに傍聴していただくための傍聴席を本会議では**28席**設けています。議事がどのように運営されているか、ぜひ傍聴にお越しください。お待ちしております。

**委員会の傍聴をしてみませんか?** 毎月の委員会も傍聴していただくことが可能です。開催日は議会ホームページに掲載しておりますのでご確認ください。ご不明な場合は議会事務局にお問合せください。なお、委員会傍聴は議場の傍聴とは違い、事前に電話連絡が必要となります。開催日3日前までに議会事務局(26-1010)まで傍聴希望の連絡をお願いいたします。議場とはまた違った様子をご覧ください。お待ちしております。

その他

## 中学校改修工事 令和8年度まで延長

— 令和7年度は主に校舎を改修 —



市川町立市川中学校改修工事(第3期)の請負契約が締結された。契約の相手方は株式会社赤鹿建設で契約金額は1億5,038万1千円。工事は夏休み中の校舎の利用者が少ない時期に実施する。

今回の工事では主に校舎と部室棟の屋根防水、外壁改修を実施する。加えて、各教室内の床改修や廊下、保健室を改修するなど、一部内部改修も行う。

当初は令和7年度ですべての工事が完了する計画であったが、設計段階で工期内に完了することが難しいということがわかった。そのため、工事は令和7年度と令和8年度に分けて行い、令和8年度に体育館の屋根と外壁を改修する。



# 消防団、機能別団員制度を導入

民生教育常任委員会 開催日 2月13日、3月14日



器具点検

幹部訓練・新入団員訓練

令和7年度で予算を確保し、ヘルメットや防火服、その他の装備を整え貸与する。機能別団員の募集については町ホームページに詳細が掲載されている。

令和7年度で予算を確保し、ヘルメットや防火服、その他の装備を整え貸与する。機能別団員の募集については町ホームページに詳細が掲載されている。

機能別団員募集の詳細はコチラ



## 初期消火と団員確保の充実を図る

3月定例会で、機能別団員の設置などを新たに盛り込んだ「市川町消防団条例」が全部改正され、制定された。

機能別団員は、火災発生時の初期消火や災害時の特定の活動、消防団員確保への広報活動など、状況に応じた柔軟な活動を行うことができる。機能別団員になるための要件は、

- ① 消防団での5年以上の活動経験または団長が認める者
- ② 75歳未満であること
- ③ 町内に居住する者

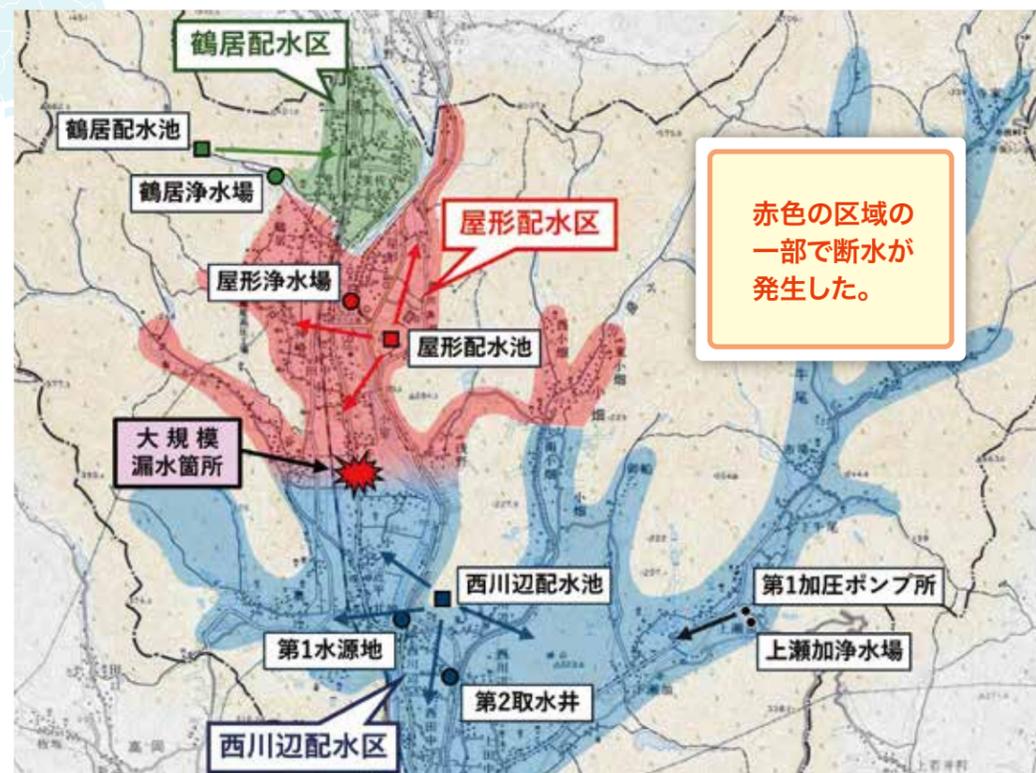
の条件を満たす必要があり、性別等は不問。定員は20人で、年額手当は支給されないが、出勤手当は支給される。

市川町においても、通常の分団員のみでは地域に必要な団員数を確保できない分団が増加している。そのため、初期消火等の特定の活動のみに参加する機能別団員制度を導入することで、地域住民が消防団に参加しやすい環境を作ることが狙い。



# 大規模断水を検証

総務建設常任委員会 開催日 2月12日、3月13日



1月13日から18日にかけて、町内で大規模断水が発生した。ピーク時には鶴居・屋形・谷・神崎の約430戸で断水が発生、また周辺の約500戸でも水圧が低下し水の出が悪くなった。今回の断水は、

- ① 屋形浄水場における機器のトラブル
- ② 町内における大規模な漏水
- ③ 冬季の渇水による取水量の低下

等の要因が重なった結果によるものだった。

委員会では、今回の件に関する検証を行い、今後における対策を水道局から聞き取った。また、2月12日に断水の要因の一つである屋形浄水場への視察を行い、「夜間の異常通報受信体制」、「施設の点検状況」、「漏水調査状況」などを確認した。

水道局として、

- ① 設備の計画的な更新と細やかな機器のメンテナンス
- ② 夜間における異常通報受信方法の改善
- ③ 災害対策マニュアルの更新

等の対策を行うとのことであった。今回の教訓を活かし、早期に対策を講じ、安全で安心な水道事業を運営するよう申し入れた。

## 教訓を活かし備えの強化を



**問** 企画政策課分については、使  
い道を地域の実情に応じて自治  
体が決定できる推奨事業メ  
ニューの交付金を活用し、町制  
施行70周年記念事業の一環とし  
て、市川Payの配布を実施す  
る。配布する市川Payの金額  
は町制施行70周年を記念して  
町民一人当たり7,000円。配  
布時期は町制施行70周年記念  
日の7月25日に合わせ、7月中

**答** 企画政策課長  
物価高騰対応重点支  
援地方創生臨時交付金  
の使い道は。



高橋 昭二

## 地方創生臨時交付金の使い道は 課長——一人当たり7,000円分の市川Payを配布

旬ごろから使用できるように計  
画している。1万400人分の市  
川Payとして7,280万円  
を見込んでいます。

### 答 税務課長

税務課分については、令和6  
年分所得税と定額減税額が確  
定したことにより、定額減税に  
係る調整給付金が不足がある  
ことが判明した納税者等に不  
足額を追加給付する。対象者は  
扶養者を含め530人で827  
万円を見込んでいます。6月の住  
民税の当初課  
税後に対象者  
を確定し、給  
付事業を進め  
ていく。



前回の市川Pay

**問** 以前の定例会で、小学  
校の統合について質問を  
行った際、「審議会を設置し、答  
申を作成する」と答弁された。  
統合へ向けた進捗状況は。

### 答 こども教育課長

小学校統合について保護者へ  
アンケートを実施し、令和6年  
11月に市川町小学校統合審議  
会を設置、令和7年2月末で審  
議を終えている。

### 問

答申の内容を尊重し、  
できるだけ早く対応して  
いただきたい。  
答申の大まかな内容は。

### 答 こども教育課長

審議会の意見としては、統合  
について教育における一定集団  
を確保する観点からおおむね賛  
同する意見が多かった。しかし、  
統合の時期や方法等については  
様々なご意見をいただいた。今  
後、統合を進めるにあたり、この  
答申を重視し、進めていきたい。

## 小学校統合審議会、答申の状況は 課長——現在校正中で3月中に教育長へ答申

# いちかわの、ココが聞きたい!

質問者氏名 ※登壇順(質問順)	掲載 ページ	質問事項
たかはし しょうじ 高橋 昭二	P15	地方創生臨時交付金の使い道は 小学校統合審議会 答申の状況は 部活動地域移行の現状は 水道断水に対する今後の対策は 神崎郡ごみ処理施設の進捗状況は
ふじもと たけあき 藤本 壮啓	P16	消防団の備品購入に支援を 結婚に伴う新生活支援事業を 産業団地導入支援業務委託料の 内容と計画は 甘地駅前整備の展望は 駐在所設置の検討を
うしお ゆみこ 牛尾 祐美子	P17	水道局職員の夜間待機に手当てを HPVワクチン、接種の効果は ひきこもり支援推進事業の内容は 災害時の情報伝達方法は
なかおか てるあき 中岡 輝昭	P18	ペット避難ガイドラインの作成を 5歳児健診の実施を LINEサービス拡充の内容は フリースクール等民間施設へ通う児童生徒に支援を 笠形オーガニックのブランド化を 給食無償化、市川中学校以外に 通学する生徒等にも支援を
ただ ひろしげ 多田 博重	P19	災害時の通信手段の確保は 耐震化事業、新たな補助の内容は リフレッシュパーク市川 サービス向上への関わりは ドローンの免許取得に支援を 防犯カメラの効率的な運用を GPS端末配布の検討を

質問者氏名 ※登壇順(質問順)	掲載 ページ	質問事項
きむら いづみ 木村 いづみ	P20	命のカプセル、要援護者への対応を 断水を経て災害備品の見直しを こども家庭センターの内容は
やまもと よしき 山本 芳樹	P21	人口減 危機感持つて対応を ふるさと財団を活用し開発推進を 令和7年度予算への意気込みは 職員の離職防止へ対策を
ごとう うみ 後藤 海	P22	総合計画、目標達成へ努力を 消防団協力事業所表示制度の導入を 地域手協の今後は 議会で出た意見の予算への反映状況は 教育委員会、外部評価での指摘事項改善を 農業販路の拡大に支援を オンライン診療の活用を 断水等トラブルにおける緊急時即応体制の強化を
にしおか まき 西岡 真紀	P23	乳幼児のおむつ購入に助成を 避難所等に防犯カメラ設置を 喫茶ひまわりの跡利用は 観光部門の今後は

**議会の傍聴をしてみませんか?**  
一般質問は議員の日常活動(調査・研究等)、住民の  
声や自身の考え方をもとに町長や教育長に方針を問  
うものです。市川町は1人60分の制限時間内であれば、  
質問の回数に制限はありません。本紙では質問と答弁  
が要約してあります。ぜひ一度、臨場感ある本会議場  
の傍聴をお待ちしています。

市川町ホームページにて  
録画映像配信中



市川町議会 会議録はコチラ

マークのテーマを掲載。全文およびその他のテーマは議事録をご覧ください。  
(6月3日以降) (いちかわ図書館もしくは市川町ホームページ掲載)

このページの  
一般質問の  
動画はこちらから  
視聴できます



### 消防団の備品購入に支援を

課長——要望があれば優先順位をつけ対応



藤本 壮啓

問

年明けより町内で火災が相次いでいるが、幸いにも甚大な火災には至っていない。これも地元消防団の活動によるところが大きい。

今後、中播消防署北部出張所の移転もあり、消防団に対する期待は一層大きくなる。町は人口減少に伴い団員が減少する中、機能別団員制度の導入など様々な改革を進めている。

そこで、機能別団員制度の導入に当たり、消防団の備品チェックを行い、必要なものを購入支援できないか。

答 住民環境課長

各分団が保有するホースについては、格納箱のホース等を中心とし、更新の必要があるものについて平成30年度から10年計画で補助を行い、更新している。備品については、最近では投光器や無線、防火服等の支給を行っている。

今後、備品について消防団本部や分団から要望があれば、一度にすべての要望に応えることは難しいが、可能な範囲内で本部と協議し、優先順位をつけて対応していきたい。



### 結婚に伴う新生活支援事業を

課長——次期総合戦略の中で検討

問

こども家庭庁の地域少子化対策重点推進交付金を活用し、結婚に伴う新生活を経済的に支援する施策として「結婚に伴う新生活支援事業」を実施する市町が増えている。

現在、市川町はこの事業を実施していないが、県内での実施自治体は令和2年度に10市町だったが令和5年度には21市町まで拡大している。近隣市町では加西市、姫路市、宍粟市、朝来市、神河町、多可町などでも実施されている。我が町でもこの「結婚に伴う新生活支援事業」の実施を検討してはどうか。

答 住民環境課長

市川町でも町単費で「若者定住促進住宅取得奨励金」などの事業を実施している。

議員ご指摘の事業は、兵庫県下でも実施自治体はかなり増えてきており、令和6年度には23市町で現在実施をされている。

市川町においても、現在の総合戦略が令和7年度までとなっているので、次期総合戦略の中で事業の実施について検討していきたい。



このページの一般質問の動画はこちらから視聴できます



### 水道局職員の夜間待機に手当を

町長——今後検討していきたい



牛尾 祐美子

問

1月13日未明から町内の一部地域で水道水の断水や圧力低下が発生した。今回の断水の主な原因は千原区での配水管の大規模な漏水だが、浄水場の機器異常の通報メールの発出が深夜であったため、確認が3時間ほど遅れたと聞いた。

夜間の待機体制の現状は。また、夜間待機手当などは支払われているのか。

答 水道局長

現状、夜間の待機体制は毎日

正規職員2名を配置しており、輪番体制で対応をしている。夜間待機手当については支給していない。

問

無償となると夜間待機に対する意識や責任感も低下してくるのではないかと懸念している。これが今回の断水の一因となった可能性もあるのではないかと。

勤務時間外に行動を制限している以上、何らかの手当を支給してもよいのでは。

答 町長

配置された職員については、行動制限が当然発生している。夜間待機手当については、今後どうするか検討していきたい。

### HPVワクチン、接種の効果は

所長——完全に予防できないが減少できる

問

子宮頸がんの原因の一つにHPVの感染がある。子宮頸がんワクチンは、重い副反応報告が相次いだために中止されていたが、2022年4月からHPVワクチンと名称が変わり接種の推進が再開されている。HPVワクチンで懸念されている重篤な副反応にはどのような症状があるのか。

答 保健福祉センター所長

重篤な副反応で主なものはアナフィラキシー、ギラン・バレー症候群などがある。

問

ワクチンを接種してから重篤な副反応が出ても因果関係を証明することは非常に困難だ。町民一人一人がワクチンの有効性とリスクを理解した上で、接種するかしないか判断ができるような情報提供

このワクチンにはHPV感染を治療する効果はないが、どのような効果があるのか。

答 保健福祉センター所長

このワクチンによって全ての子宮頸がんを予防することはできない。

しかしながら、接種によりHPV感染や子宮頸がんを減少させる効果があるという報告もある。

※HPV

ヒトパピローマウイルスの略。子宮頸がんなどの原因となる。

このページの一般質問の動画はこちらから視聴できます



### ペット避難ガイドラインの作成を

課長——啓発資料の作成と周知に努める



中岡 輝昭

問

ペットの同行避難については、人とペットが共存できる避難所のルールづくりが必要である。飼い主にとってはスムーズに避難できるように、普段から他の人に慣れさせるなど、動物のトレーニングをしておくことも必要である。

神戸市では飼い主の心構えやルールを盛り込んだペットの避難ガイドラインを作成し、ホームページで公開している。市川町でも災害時のペットの避難ガイドラインを作成し、周知しておくことが必要と考えるが。

答

総務課長

ペットとの同行避難を実現するためには、避難所におけるペットの受け入れ体制を整備する必要があるのであるが、飼い主の責任において平時からの災害時に備えたいつけや備蓄品の確保、ペットの健康管理など飼い主の力を高めることも重要である。他市町の飼い主の心構えやルールを盛り込んだガイドライン等を参考に、啓発資料の作成と周知に努めたい。



### 5歳児健診の実施を

所長——早期実施を目指したい

問

こども家庭庁は、来年度から早期に障がいのある子どもを支援し、症状の改善につなげるため、5歳児健診の普及に乗り出す。

母子保健法は、1歳半と3歳児の健診を自治体に義務付けており、5歳児健診は任意となっている。多くの子どもは3歳児健診後、就学時健診まで約3年の空白期間が生じる。5歳になると社会性が高まり、発達障がいや認知されやすくなることから、5歳児健診が重要となっている。市川町でも早期の実施を。

答

保健福祉センター所長

本町では現在、発達障がいの疑いがあるなど要フォロー児と保護者を対象に5歳児発達相談事業を神河町と合同で行っている。

5歳児健診を実施するには、小児発達の診察ができる医師や心理相談を担当する専門職、言語聴覚士などの療育専門職の確保が必要となる。また、健診運営に加え、受診後の支援体制を整備する必要がある。これらの課題解決に向け、近隣市町の動向を注視しつつ、早期実施を目指したい。



このページの一般質問の動画はこちらから視聴できます



### 災害時の通信手段の確保は

課長——一部地区に衛星携帯電話を配備



多田 博重

問

大規模災害時にはインフラが破壊され、通信手段の確保が困難になることが懸念される。通信手段を確保できなければ、避難者は何日も連絡するすべもなく、不安な日々を過ごすさなければならぬ。市川町における災害発生時の通信手段確保の状況は。

答

総務課長

大規模災害時には非常用発電機を整備している防災行政無線が有効な通信手段となる。それも使用できない場合は、人力での



トランシーバー等では、通信距離が短いことが課題になると考えられる。現在、孤立集落になる可能性がある地区には衛星携帯電話を配備している。衛星を経由するので、電柱などが倒れている場合でも使用できる。

問

誰でも簡単に操作できるトランシーバーのようなものを用意してはどうか。

答

総務課長

広報や協定を結んでいる他団体の支援により通信手段を確保する。

課長——シェルター設置に最大50万円補助

### 耐震化事業、新たな補助の内容は

問

住宅の耐震化事業には多額の費用がかかり、行政の補助金もあるとはいえ自己負担もかなり大きい。

令和7年度予算で耐震化事業を拡充し、耐震シェルターや防災ベッドの設置にも補助を行うとのことだが補助の内容は。

答

事業参事兼建設課長

部分型耐震化補助として、住宅の改修に最大50万円を補助する。簡易耐震改修工事補助として、耐震シェルターには最大50万円、屋根の軽量化には最大50万円補助する。そのほか住宅建替補助として最大100万円、防災ベッドの設置等に最大10万円補助する。

詳細については建設課にパンフレットを設置している。

問

補助は非常にありがたいが、防災ベッドや耐震シェルターについて、どのようなものを購入すれば良いかわからないのではないかと。関係する資料があれば建設課の窓口を設置してはどうか。

答

事業参事兼建設課長

県が推奨するメーカーが発行しているパンフレットがある。値段もさまざまなので、自宅に合ったものを選択していただければと思う。

このページの一般質問の動画はこちらから視聴できます



### 命のカプセル、要援護者への対応を

課長——自治会や民生児童委員等の協力を得る



木村 いづみ

**問** 命のカプセル配布事業を始める経緯と目的は。

**答** 健康福祉課長

近年、高齢化が進む中で要援護者が増加しており、緊急時の迅速な対応が求められている。そのため、この命のカプセルに持病等の情報を入れることにより、緊急時に救急隊員等が必要な情報を即座に確認でき、適切な医療措置や支援の迅速な対応が期待される。



命のカプセル

**問** カプセルを来年度配布して終わりではなく、今後も有効に活用するために、要援護者に対する支援等が必要である。また、今後は転入時にカプセルを渡す必要がある。さらに、カプセルに入れる書式をわかりやすくするなどの工夫をしてはどうか。

**答** 健康福祉課長

支援が必要な方は、自治会や民生児童委員、ケアマネジャー等幅広く協力いただき、支援を行う。カプセルには記入例等を入れ、転入時に即座に対応できるように様式等を整える。

### 断水を経て災害備品の見直しを

課長——使い勝手の良い給水袋を増やす

**問** 令和6年度一般会計補正予算の防災備品購入費940万5,000円の詳細は。

**答** 総務課長

避難所等の環境改善を図るため、ワンタッチパーテーション100セット、要配慮者も使用可能な仮設トイレ2基を購入する。これらを保管する防災倉庫を1基、文化センターに設置する予定。

また、災害時に孤立する可能性がある地区における通信手段確保のために衛星携帯電話6台を更新する予定。本事業の執行は繰越し、令和7年度に行う予定。

**問** 1月の断水時、近隣市町から給水袋1,000枚の支援を受けた。今回の断水

**答** 総務課長

断水時には、備蓄していたポリタンクと給水袋をすべて使用した。給水袋の方が使い勝手良かったとのことだったので、給水袋の備蓄をもつ少し増やしてもよいと考えている。



このページの一般質問の動画はこちらから視聴できます



### 人口減、危機感持って対応を

町長——企業誘致や住宅地開発を推進



山本 芳樹

**問** 1月12日発刊の新聞に、各市町の成人総数が掲載されていた。神河町の108名に対し、市川町は83名。県内で最も人口が少ない神河町よりも、25名も少ない。このままでは、数年後には予算規模や人口が最も少ない町になる。人口減対策は喫緊の課題だ。

**答** 町長

こういった数値を見ると、さらなる人口減対策が必要だと感じる。

町内で働く場所を確保する

ため企業誘致や、住みやすい町にするため民間の力を借りた住宅地開発を推進したい。

**問** 人口減対策として、ぜひ住宅地開発を進めてほしい。他市町の取り組みを参考に様々な施策を行わないと人口減は止められない。町長・副町長には危機感を持って対応していただきたい。

**答** 副町長

まず、市川町で成人された83名の皆様に感謝申し上げます。そして、今後も市川町に住み続けていただきたいと願っている。

市川町は交通アクセスが良く、地価も安く定住に適している。引き続き子育て支援や定住促進に注力したい。

### ふるさと財団を活用し開発推進を

副町長——今後、有効に活用していきたい

**問** 昨年、研修を受けた際に、地域総合整備財団、いわゆるふるさと財団から市町向け事業について説明を受けた。財団のふるさと融資制度(※)を活用し、宅地開発や企業誘致に対して助成を行うてはどうか。

**答** 副町長

調べたところ、宅地開発で第三者に売却または分譲予定のものには制度の対象外だった。令和5年度までの実績を見ると、兵庫県では46件。多可町でも一業者が1億円を借り入れている。町単独で開発を行うには財政的にも厳しい。このような制度をうまく活用してはどうか。

**答** 副町長

このような官民協働の事業

は、財政力の弱い市川町にとっても今後取り組んでいかなければならない事業だ。行政と民間事業者が互いに有利となる制度なので、他市町での活用事例を研究しつつ、制度の特徴を理解し、町の活性化につながるよう活用していきたい。

#### (※)ふるさと融資制度

地域振興に資する民間投資を支援するために、市町村等が長期の無利子資金を融資する制度。利子負担分の75%が地方交付税措置される。



このページの一般質問の動画はこちらから視聴できます



### 総合計画、目標達成へ努力を

#### 課長——部門統合の実施やツールを活用



後藤 海

**問** 総合計画は町の最上位計画だが、令和6年度当初の目標達成率は37%。町長は目標達成に向けて努力すると答弁されたが、その努力はどのように予算編成に反映されたのか。

**答** 企画政策課長 また次期総合計画の立案に際しては、RESAS(※1)やe-Stat(※2)等、国が提供する社会指標ツールを活用し、横断的な観点から目標設定すべきと考えるが。

未達成項目について各課ヒアリングを行い、現状の課題や達成状況の要因を評価・検証し、対応策を実施した。

令和7年度の取組として、計画全体に影響を与える人口減少対策の一環で移住定住促進部門・観光部門・空き家対策部門を一元化する。また、新たに宅地分譲開発を行った民間事業者に補助金を交付する。

RESAS等の社会指標ツールは、目標設定に利用できそうな分野について積極的に活用していきたい。

※1 RESAS

地域経済に関するデータを地図やグラフで可視化したシステム。

※2 e-Stat

各府省が公表する統計データを一つにまとめたポータルサイト。

### 消防団協力事業所表示制度の導入を

#### 課長——導入に向けて前向きに検討する

**問**

市川町消防団から「消防団協力事業所表示制度」の導入要望を聞いている。令和2年度時点での導入自治体は全国で約8割に達している。全消防団員の約7割が被雇用者である現状を考慮すると、雇用者側の消防団活動に対する一層の理解と協力が求められる。

先日発生した火災の際、初期消火に出勤できたのは私と副分団長の2人だけだった。勤務時間中の消防団活動への便宜や従業員の入団促進など、消防団活動に協力的な事業所を地域に広く伝えていく必要がある。制度への早期参画を。

**答** 住民環境課長

令和6年4月現在、兵庫県で「消防団協力事業所表示制度」を導入しているのは19自治体。

ほとんどの自治体では、表示証となるプレートの配付や、表彰を行っている。町消防団本部からの要望も聞いており、参画に向けて前向きに検討したい。



このページの一般質問の動画はこちらから視聴できます



### 乳幼児のおむつ購入に助成を

#### 町長——子育て世帯の支援を考えていく



西岡 真紀

**問** 乳幼児のおむつ購入への助成について近隣市町の取組状況は。

**答** 保健福祉センター所長 相生市では、令和7年度から国の取組で妊婦のための支援給付金に加え、市独自で育児用品の購入費として、出産した子ども一人につき2万円を助成している。

たつの市では、生後2か月目と5か月目にカタログから選んだ紙おむつなどの育児用品を無料で自宅に届けている。

香美町では、乳児1人につき2万円のおむつ券を配付、加西市では生後3か月から満1歳になるまで毎月1回、カタログから選んだ3,000円相当の紙おむつを含む子育て用品を支給している。

神河町では、神河町社会福祉協議会が歳末助け合い募金を財源に1歳になる乳幼児に紙おむつを2袋支給している。

**問**

市川町でも助成すべきだが、町としての考えは。

**答** 町長

子育て世帯にとっておむつの配付は本来にありがたいことだと思う。子育て世帯の支援を前向きに考え、取り組んでいきたい。

### 避難所等に防犯カメラ設置を

#### 課長——約20か所に設置予定

**問**

避難所などは子どもや女性が多く利用すると思われる。安全・安心を確保するために防犯カメラの設置が必要だと考える。防犯カメラ一つで抑止力がはたらき、町民の安全・安心を確保できる。予算化を進め、取り付けを進めては。

**答** 総務課長

防犯カメラの設置は犯罪抑止効果が期待され、子どもや女性などが安心して過ごせる環境を提供できる。地域の安全を確保するためにも必要な取組であり、今後、防犯カメラが必要な町内の施設を再検討していきたい。

いでは、今後の大規模改修に合わせて設置する。

**答** こども教育課長

学童保育を行っている場所についても、予算化はしていないが、補正予算の計上を考えている。今後、設置の検討をしていきたい。



このページの一般質問の動画はこちらから視聴できます



# 聴かせてください！ あなたの声

老人会の皆さんに聞きました

今回は市川町における様々な活動に参加され、幅広い年代とかわりを持たれている市川町老人クラブ連合会（以下 老人会）の皆さんにお話を伺いました。



藤本 鶴居地区会長



南 甘地地区会長



鶴巻 町会長



小林 町副会長



木村 瀬加地区会長

## 老人会の課題は

### 会員の確保が課題

鶴巻 町会長

老人会には「健康」「友愛」「奉仕」という三つの原則があります。「健康」とは、みんなで寄り合って100歳体操をしたり、お茶を飲みながらわいわい話したりすることです。人と出会うことが健康には必要なんですよね。

次に「友愛」とは、お互いに助け合い、ちよつと家から出にくい方に「今日寄り合いがあるよ」と声をかけ、迎えに行ったりすることです。みんなで声をかけ合いながら助け合って活動しています。

最後に「奉仕」。これは地域清掃などの社会活動のことです。人の役に立つという実感を



鶴巻 町会長

持つことで、いきいきとした生活を送ることができます。

このように、「健康」「友愛」「奉仕」をモットーに活動しています。ただ最近では老人会に入会される方が少なくなっています。

藤本 鶴居地区会長

どないして会員さんを増やすかずっと悩んでいます。区の清掃や草刈りとかをやったら、参加してくれるのはほとんど老人会のメンバーです。ですから、できるだけ会員さんを増やして、みんなでわいわい言いながらやったらええと思ってるん



木村 瀬加地区会長

だ、いろんな「役」が当たること考えると尻込みしてしまう。これも入会者が少なくなっている理由の一つやと思います。

木村 瀬加地区会長

昔よりも、人が一つの方向を向かんようになってきました。ちよつと意に反することがあつたらもう一切参加しないとか、はつきりと姿勢が出るようになってきましたね。

だからイベントをすつとすつと、10人ほど集まればええほうです。コロナ前は旅行にも行ってましたけど、その後はパッタッとなくなつてしまった。団

ですけど、「老人会どうですか」ってお願いしに行つても、大体返ってくるのは「検討します」という返事ばかりです。最近ではみんな仕事してるんで時間がとれない。それにお亡くなりになる方も結構おられるんで、会員さんは減る一方です。それが一番の課題ですかね。

南 甘地地区会長

昔でしたら葬式とかいろいろありましたら、隣保で集まってやるのがたくさんありましたでしょ。そういうのがだんだんとなくなつて、もう誰かに頼らなくてもいいようになってきている。それも入会者が少なくなつて理由の一つやと思います。

でも、老人会もそんな嫌なことばかりじゃなしに、楽しいこともたくさんあります。実際に活動をすれば楽しいという人はかなりいると思うんです。た



体で集まって何かしよかという  
雰囲気もなくなりましたね。

牛尾議員

市川町では1月に大規模な  
断水があり、周りの方とのつな  
がりが重要だと改めて感じま  
した。少子高齢化が進む中で、  
近所づきあいというか、周囲を  
気に掛けるようなつながりが、  
本当に大切になってくる。地域  
のコミュニティを支える取り組  
みを行わなければならないと  
思います。

## 議会や行政に 求めることは

### 地域コミュニティの 場づくりを

藤本 鶴居地区会長

私ちよっと思っただんですけど、  
例えば文化センターでお笑い



藤本 鶴居地区会長

のイベントをして、みんながわい  
わい言いながら笑える場があ  
ればいいと思うんです。家に  
じっとおるよりかは、文化セン  
ターでワハハと笑って帰ったら  
気持ちよくなる。足腰に不  
安のある方はバスで送迎する  
とかしていただいで、介助が必  
要だったら役員も一緒になって  
介助しますから、そうしたこと  
を考えていただきたいですね。

赤松議員

文化センターもどんなイベン  
トをやればいいのか頭を悩ま  
せています。アンケートなどを  
実施し、老人会の皆さんと連

携を図ってほしいですね。

小林 町副会長

私は行政に対して、「小さな  
拠点づくり」をお願いしたいで  
す。将来的には、高齢者の交通  
手段の確保が課題になってく  
る。文化センターあたりに学校  
や医療機関を全部集めて、そこ  
へ来れば一日買い物とかいろいろ  
やって帰れるというようにな  
ね、そういう高齢者の視点に  
立った「まちづくり」をお願い  
したいです。

木村 瀬加地区会長

「向こう10年間、固定資産税  
を減免するからどこか企業来  
ませんか」という風に企業誘致  
してはどうですかね。そうす  
ることでも人も集められる。何か思  
い切ったことをしなければなら  
ないと思います。

藤本議員

令和7年度に市川町の総合  
計画が満了します。ちょうど

と人気があるんです。

牛尾議員

素晴らしい取り組みですね。

南 甘地地区会長

結構評判で子ども達から感  
想文ももらっています。

老人会でも、「子どもと触れ

合うのは非常に楽しい」、「子ど

もと触れ合っただけよかったな」と

皆さん感じられていました。

藤本議員

今お聞きしている「伝える」  
ということ、地元の伝承や昔  
からの活動を継承していく取  
り組みが非常に重要だと思  
います。

## 地域との かかわりは

### 次の世代へ

#### 「伝える」と「つなぐ」

小林 町副会長

ちよっとかっこいい言い方に  
なるんですけど、「伝えるとい  
うことが生きる」という意味で

これはずっと継続してやっ  
てきて、ほかの地区でも同じよ  
うな取り組みを行っています。  
南 甘地地区会長  
小学校で昔遊びを授業で  
やっていまして、今年は何んぐ  
りのコマ回しとかタラヨウの葉  
に字を書いたりしました。意外



南 甘地地区会長



## あとがき インタビューを終えて

今回は、市川町において様々な活動に携わっている老人会の皆様にインタ  
ビューを行いました。  
会員数に関する悩みや地域とのかかわりについてなど様々な意見やお話を  
伺うことができました。日々の業務でお忙しい中、インタビューをお受け  
くださりありがとうございました。



小林 町副会長

今、次に向けた計画を策定し  
ている最中です。老人会の会員  
はおおよそ3,000人で、市  
川町のほぼ3分の1を占めて  
います。この層が暮らしやすい  
「まちづくり」をする必要があ  
りますし、行政が老人会と連  
携すれば何か大規模な取り組  
みができるのではないかなと思  
います。

小林 町副会長

地域コミュニティの確保につ  
いて、ご協力いただきたいと思います。  
神河町では、企業の業務の一部  
を村が下請けすることで、収入



ご応募  
お待ちしております

### 表紙『いちかわ』の 文字募集



市川町在住の小学生のみなさん、議会  
広報紙の『いちかわ』の文字を書いて  
みませんか。楷書・横書で『いちかわ』と  
ひらがなで書いていただき議会事務局  
に持参ください。その際、顔写真のデー  
タ(裏面の紹介欄に使用)、小学校名、学  
年も添えて提出願います。掲載は、一番  
に応募いただいた方を表紙に採用させて  
いただきます。

募集期間

5月1日から6月30日

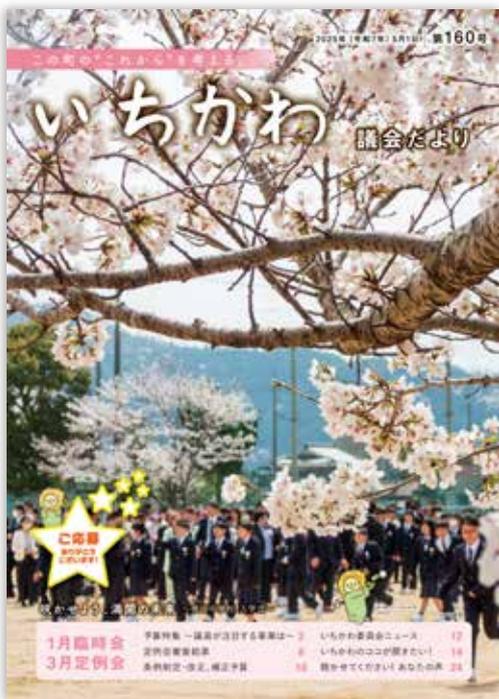
双子の

私たちが書きました！



甘地小学校 6年生 たなか りんと れんと  
田中 琳斗さん(いち)・蓮斗さん(かわ)

2025年(令和7年)5月1日発行  
『発行』市川町議会 『編集』議会広報編集委員会  
〒679-2392 兵庫県神崎郡市川町西川辺165-13



## 表紙写真募集中!!

次号(161号)のお題「休日」

町民に親しまれる「いちかわ議会だより」の取り組みの  
一環として表紙の写真を公募します。

募集要件は

- ①「お題」にそった写真であること(なるべく人物を含む)
- ②町内で撮影されたものであること
- ③デジタルデータで提供できるものであること
- ④縦撮りの写真であること

などです。詳しくは町ホームページをご覧くださいか、  
議会事務局(0790-26-1010)までお問い合わせください。  
議会広報編集委員会で選定を行い、採用された写真を  
表紙に掲載させていただきます。

募集期間

5月1日から6月30日

ご応募、お待ちしております。



応募はこちらから

## 全国町村監査功労者表彰を受賞



本間信夫議員が、令和6年度全国町村監査  
功労者表彰を受賞された。本間議員は7年以  
上にわたり監査委員を務められている。本間  
議員は「引き続き財務状況について監査し、  
助言等を行っていく。」と語った。

## 編集後記

3月議会では予算審議を中心に、地  
域課題への議論が交わされました。こ  
れからも議会の動きをわかりやすく伝  
えています。

編集委員/後藤 海